令和7年度第1回
湘南西部地区保健医療福祉推進会議
審議（会議）記録

令和7年9月2日（火）
18：30～20：30
ウェブ会議

1 開会

<久保田会長>

久保田でございます。

それでは、さっそく議事を進めたいと思います。

本日の会議は、協議事項2件、報告事項6件となっておりますが、お手元の次第のとおり、本日はまず関係者の方に御出席いただいている報告事項2件を議題とし、その後、協議事項2件、報告事項4件の順に進めてまいりたいと思います。

なお、事務局におかれましては、議題の説明に当たり、簡潔かつ論点を明確にしてくださいませようよろしくお願いします。

2 報告事項

<久保田会長>

それでは次第に沿って進めてまいりたいと思います。

本日の報告事項、次第2の(1)及び(2)につきましては、令和4年度の当会議において、経過の御報告をお願いしたものでございますが、お手元の委員名簿の下段に記載のとおり、(1)については、湘南大磯病院の権藤病院長、英事務長に御出席いただいております。

権藤病院長さん、英事務長さんにおかれましては、御多忙のところ御出席いただき、誠にありがとうございます。

(1) 湘南大磯病院の現況について

<久保田会長>

それでは、次第の2「報告事項」の(1)、「湘南大磯病院の運営状況について」を議題といたします。

それでは、湘南大磯病院から御報告をお願いいたします。

(資料1により湘南大磯病院報告)

<久保田会長>

ありがとうございました。

それでは、ただいまの御報告について、御意見・御質問等がございましたら、御発言をお願いいたします。

いかがでしょうか。

特に御意見等ございませんか。

ないようですので、この報告事項は終了といたしますが、湘南大磯病院におかれましては、積極的に地域医療に貢献していただいていると受け止めております。引き続き

き、どうぞよろしくお願いいいたします。

なお、全床稼働までの間、御報告いただくこととさせていただいておりますので、次回は本年第3回の会議で御報告をお願いいたします。

権藤病院長さん、英事務長さんにおかれましては、本日は御出席いただきまして誠にありがとうございました。それでは、どうぞ御退席ください。

《湘南大磯病院関係者退室》

（２）データ分析結果から見えてくる地域の状況・特徴等について

<久保田会長>

次に、次第の2「報告事項」の(2)、「データ分析結果から見えてくる地域の状況・特徴等について」を議題といたします。

それでは、事務局から御報告をお願いいたします。

<事務局（医療企画課）>

こちらにつきましては、本県のデータ分析チームの横浜市立大学の清水先生に御報告いただきます。

（資料2により横浜市立大学 清水講師報告）

<久保田会長>

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明について、御意見・御質問がございましたら、御発言をお願いいたします。

<神奈川県医師会 小松理事（磯崎委員の代理出席）>

地域の中で知りたいこと、政策判断するため「施設のこういうデータが欲しいよね」というものを地域の委員からリクエストいただければありがたいと思います。

<久保田会長>

鈴木委員はいかがでしょうか。

<鈴木委員>

我々がデータの見方を勉強することが必要と感じます。生産年齢人口が減少し、高齢者の医療需要の増加に対応する必要があるということなので、介護医療院のデータも入れていただきたいと思います。

<久保田会長>

清水先生にお伺いしますが、資料2ページにある「構想区域における回復期・慢性期の病床は、病床全体の約45%、慢性期のうち療養病床入院料を算定しているのが815床あり、サブアキュート、ポストアキュートの連携が課題」とはどういうことでしょうか。

<横浜市立大学 清水講師>

回復期の病床は増えています。急性期をどこが受けるのか。回復期が少ないと言われていますがどう受け入れるのか。他の地域との比較などもしながら見てみる必要があると思います。

<久保田会長>

わかりました。ありがとうございました。

他に、御意見・御質問はございませんか。よろしいでしょうか。

それでは、次に協議事項に入りたいと思います。

3 協議事項

(1) 湘南西部地区における2025プランの変更協議について

<久保田会長>

まず、次第の3の(1)、「湘南西部地区における2025プランの変更協議」について、事務局から説明をお願いいたします。

(資料3により事務局説明)

<久保田会長>

ありがとうございました。

それではただ今の説明について、御意見・御質問がございましたら、御発言をお願いいたします。

<鈴木委員>

病床を返還すれば既存病床数が減ることになりますが、国の病床数適正化支援事業に協力して病床返還した場合は、既存病床数が基準病床数を下回っても病床の募集にはならないということでしょうか。

<事務局(平塚保健福祉事務所)>

今回のケースでは既存病床数は基準病床数を下回りません。

<鈴木委員>

下回るか回らないかにかかわらず病床数適正化支援事業の場合は募集しないとい

うことだったと思うのですが。

<事務局（医療企画課）>

そちらにつきましては、後ほど、報告事項にあります「病床数適正化支援事業について」のところで、ご説明する予定ですのでよろしく申し上げます。

<久保田会長>

ありがとうございました。他にいかがでしょうか。

特に御発言はないようですので、それでは湘南西地区における 2025 プランの変更協議につきましては、説明いただいた内容で御了承していただくということで、よろしいでしょうか。

（異議なし）

<久保田会長>

それではそのようにさせていただきます。

（２）現行の地域医療構想の振り返りについて

<久保田会長>

次に次第3の（２）、「現行の地域医療構想の振り返り」について、事務局から説明をお願いします。

（資料4により事務局説明）

<久保田会長>

ありがとうございました。

それではただ今の説明について、御意見・御質問がございましたら御発言をお願いいたします。いかがでしょうか。

<鈴木委員>

国の1万床必要というのを鵜呑みにせず、県は地域の意見を聞いて対応してくれてありがたいと思っています。

<田邊委員>

国からの1万床足りないという話に対し、神奈川は大幅な増床をせずとも対応できている、医療費の軽減ができる、ということを全国にも発信していくことが重要と思いますがいかがでしょうか。

<事務局（医療企画課）>

機会を捉え、国への情報提供を検討していきたいと思います。

<神奈川県医師会 小松理事（磯崎委員の代理出席）>

私も国の説明会や日医の委員会などで何度も言っています。しかし、増床が必要な都道府県が少ないので、多勢に無勢で声がなかなか通らないというのがあります。最近になってやっと国も理解してくれるようになったと思いますが。

<鎌田委員>

振り返りにおいては、コロナを境に患者の志向が変わっており、入院しない、外来も利用しない方が増えていると思います。患者の分析もお願いしたいです。

<久保田会長>

次回以降に地域包括ケアシステムの推進に向けた在宅医療の充実の振り返りが予定されています。湘南西部地区は medical B. I. G. net により連携が図られているので、その際は medical B. I. G. net の現状や課題について報告いただきたいです。また、在宅医療、介護のデータなどもご提示いただきたいと思いますが、皆様のご意見を伺いできればと思いますが、その辺いかがでしょうか。

<稲瀬委員>

medical B. I. G. net の話もありましたので、発言させていただきます。medical B. I. G. net の状況は、開始時 20 病院、11 介護施設でしたが、現在は 44 病院、54 介護施設になっています。全県的な取組みとして、パブリックなシステムを整備していただければと思います。

<竹末委員>

在宅医療の状況を単一医師会での把握は難しいです。総括できる人材もなかなか見当たらないので、県のほうで全開業医へアンケートなどしていただければありがたいと思います。

<神奈川県医師会 小松理事（磯崎委員の代理出席）>

病院以外もデータは出せると思います。患者さんをどこで誰がどこまで診ているのかを決めることが大事なので、施設は県で、医療側は医師会の方で会員に調査はできると思います。担当理事が今この場にはいないので伝えておくようにします。

<久保田会長>

圏内の市町で介護のデータを出せるか伺いたいのですが。

秦野市の守屋委員はいかがですか。

<守屋委員>

どのようなデータを持っているのかを把握していないため、どれだけのものを出せるのか確認してみたいと思います。

<久保田会長>

大磯町の植地委員はいかがでしょうか。

<植地委員>

どういう内容のものをお出しする必要があるのか、それを踏まえたうえで確認してみないと何とも言えないかと思います。

県でまとまった対応をしていただいた方が良いのではないのでしょうか。

<久保田会長>

県の方はいかがでしょうか。

<事務局（医療企画課）>

在宅医療に関するデータとなると、県の健康医療局だけではなく、福祉子どもみらい局との調整も必要になるかと思えます。また、市町村との区分けもどういった形でできるのか確認も必要になると思えますので、そうしたことも踏まえたうえで検討していきたいと思えます。

<久保田会長>

ありがとうございました。

次回以降の会議での振り返りに向けてですが、湘南西部地区におきましては、医療と介護の連携に関しては、medical B. I. G. net がご尽力されているところですが、このmedical B. I. G. net の現状・課題について情報共有できればと思えます。また、地域包括ケアの実施主体である市町村の担当課や医師会の在宅医療の担当などにもご参加いただき、情報共有できればと思えますので、事務局で、その辺のご検討をよろしく願いできればと思えます。

他にはいかがですか。よろしいですか。

それでは、「現行の地域医療構想の振り返り」につきましては、説明いただいた内容で御了承いただくということによろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは、そのようにさせていただきます。

以上で、本日の協議事項は終了いたしましたので、再度、報告事項に入らせていただきます。

4 報告事項

(1) 地域医療介護総合確保基金（医療分）の活用状況について

<久保田会長>

それでは、次に次第4の「報告事項」の(1)、「地域医療介護総合確保基金（医療分）の活用状況」について、事務局から御報告をお願いいたします。

(資料5により事務局報告)

<久保田会長>

ありがとうございました。

それでは、ただいまの報告について、御意見・御質問がございましたら、御発言をお願いします。

特に意見・御質問はございませんか。

それでは、次の報告に移りたいと思います。

(2) 非稼働病棟の調査報告について

<久保田会長>

次に次第4の「報告事項」の(2)、「非稼働病棟の調査報告」について、事務局から報告をお願いいたします。

(資料6により事務局報告)

<久保田会長>

ありがとうございました。

それでは、ただいまの報告について、御意見・御質問がございましたら、御発言をお願いします。

特に意見・御質問はございませんか。

それでは、次の報告に移りたいと思います。

(3) 病床数適正化支援事業について

<久保田会長>

それでは、次に次第4の「報告事項」の(3)、「病床数適正化支援事業」について、事務局から御報告をお願いいたします。

(資料7により事務局報告)

<久保田会長>

ありがとうございました。

それでは、ただいまの報告について、御意見・御質問がございましたら、御発言をお願いします。

特に意見・御質問はございませんか。

それでは、次の報告に移りたいと思います。

(4) 令和6年度病床機能報告結果（速報値）について

<久保田会長>

それでは、次に次第4の「報告事項」の(4)、「令和6年度病床機能報告結果（速報値）」について、事務局から御報告をお願いいたします。

(資料8により事務局報告)

<久保田会長>

ありがとうございました。

それでは、ただいまの御報告について、御意見・御質問がございましたら、御発言をお願いします。

いかがでしょうか。

特にないようでございますので、本日本日予定されていた議事は、以上で終了いたしました。

5 その他

<久保田会長>

進行次第の5「その他」でございますが、委員の皆様、事務局から何かございますでしょうか。

(なし)

それでは、進行を事務局にお戻しいたします。皆様、円滑な議事の進行に御協力いただき、ありがとうございました。

6 閉会